

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年11月13日

施設名	香北青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

## 1施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用の許可に関すること</li> <li>施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>食事の提供及び宿泊に関すること</li> <li>青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること</li> <li>主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成18年度主催事業&gt;                      子どもフェスティバル(1泊2日) いきいき合衆国で遊ぼう                      青年リーダー研修(前期・後期)                      地域子ども交流会・チャレンジキャンプ(1泊2日)                      子供フェスティバル忍者大会(1泊2日)                      夏休み、親子クラフトづくり体験</p>
施設内容	青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健康的な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営しています。 構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡ 施設概要: 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員121名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km
職員体制	職員:12名 パート職員:2名 合計:14名

## 2収支の状況

注:平成17年度は香北町に委託契約をしていた実績を記載しています。

		17年度(決算)	18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	34,126,139	34,184,000	34,184,000
	事業費収入	513,000	712,340	773,000
	使用料	2,884,920	3,109,480	3,109,480
	収入計 (a)	37,524,059	38,005,820	38,066,480
支出	事業費	513,000	1,131,505	1,516,200
	管理運営費	27,524,575	11,962,303	11,594,100
	人件費	6,601,564	20,151,246	21,846,700
	支出計 (b)	34,639,139	33,245,054	34,957,000

### 3 利用実績

#### (1) 宿泊者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均
宿泊者数	8,303	8,633	9,398	9,234	8,892

#### (2) 利用団体数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均
利用団体数	203	213	208	214	210

#### (3) 利用者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均
人数	17,566	18,035	19,160	17,235	17,999

### 4 業務の評価

項目	状況説明
事業計画・運営計画の実施状況	事業計画のとおりに行われているが、特に以下の点で工夫が見られた。 事業運営のために、大学生を中心とした登録制のボランティアネットワークを作り上げた。ボランティアの方はリーダー研修で指導力を向上させ、忍者大会で子ども達の指導者としてとても良い活躍をした。 緊急時対策として、引率者も含めた緊急連絡網や自衛消防組織が毎回作られている。
適正な管理運営の確保	以下の点で、適正な管理運営の確保に向けた工夫が見られた。 経費削減のため次のようなことに具体的に取り組んでいる。 ・利用者への節電・節水協力の呼びかけ。 ・焚きつけの着火用に消毒した使用済み割り箸を利用している。 塩素による厨房内消毒を毎日、全館消毒を月に1回実施している。また、利用者の退所後は使用した場所全てを消毒している。 利用者への手洗い指導を徹底して行っている。
利用者サービスの維持向上	以下の点で利用者サービスの維持向上に向けた工夫が見られた。 利用者サービスの向上を目指して、利用料金等のほか主催事業の情報を掲載するなど、ホームページを全面的に更新した。 実りのある研修を行うために利用団体の代表者と事前に2時間程度研修の目的や内容について、打ち合わせを行っている。
利用実績	平成17年度と比較して、利用者数が1,925人減少した。これは、食中毒予防のための消毒作業を休館(6月19日～6月30日)して実施したこと等が考えられる。
収支の状況	平成17年度と比較して、全体の宿泊者数は164人減ったが、使用料収入は225千円の増収となった。これは、青少年以外の宿泊が平成17年度と比較して100名増えたことが大きな理由と考えられる。 (宿泊料参考 中学生以下230円、青少年25歳未満400円、青少年以外790円) また、管理代行料の支出については18年度当初予算額と比べて、1,394千円の削減となっている。
総合評価	A 事業計画のとおり管理運営されており、利用者サービスについても工夫や努力が見られた。特に、食中毒対策に積極的に取り組んでいる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの